

当社は昔から「家族的な会社」と言われてきた。今の時代の「生ぬるい」言

寸言

ニッポン

The Japan Financial News

9月12日 金曜日

2008年(平成20年)

発行所 東京都千代田区九段南
4-3-15 〒102-8677
日本金融通信社
電話 03(3261)9971
郵便振替口座 00110-0-17505

投信コーナーのレイアウトは、営業室の省スペース化と使いやすさが基本です。お気軽にお声を掛けてください。

TEL: 044-543-5132
e-mail: sec@shukoh.co.jp

秀興

住宅ローン

メガバンク・大手地銀

契約意思確認など委託

事務効率化でコスト削減

メガバンクや大手地方銀行、インターネット銀行は、店舗がない遠隔地で住宅ローンやアパートローンを強化するために事務作業を効率化する新たなビジネスモデルを取り入れ始めている。契約時の本人・意思確認や契約書の締結事務などのクロージング業務を司法書士の専門家を集めた事務代行業者に「補助業務」として外部委託するもので、10行程度が利用している。人件費削減の手段としても複数の銀行が関心を持っている。

10月に大手行が 実証実験を開始

インターネットの発展や大手ハウスメーカーとの提携住宅ローンが普及し、遠隔地取引は増加した。だが、契約時に行員を派遣するのはコスト負担も大きく課題になっている。この流れを受けて、金融機関向け事務代行業者のエスコロー・エーシエント・ジャパン(本社・東京都中央区)などが08年から金融機関の事務代行業を開始。

現在、同社は全国に9拠点をあり、メガバンクや大手地銀、インターネット銀行など10行程度と事務委託協定を締結。クロージング業務やデューデリジェンス(資産評価)、決済支援業務の事務代行と司法書士や不動産鑑定士ら専門家による登記の管理業務をしている。契約時の意思確認は、同社の社員が司法書士の立ち会いの下で、銀行の補助業務として申込者と面談して確認する。契約書締結事務では商品説明をするほか、遠隔地から銀行まで契約書類を送付する業務も行う。

同社では、「事務委託で人件費を含めたコストを大幅に減らすことが目標」で、1日あたりの銀

先の顧客情報の管理体制を見極めることも必要になる。

10月には大手行が契約

書締結代行業務の外部委託を検討するためにコスト削減効果の実証実験を始める予定。今後、クロ

ージング業務を担う人材が増えるにつれて遠隔地だけでなく都市部でも委託が広まりそうだ。